

2017年9月4日

朝礼の話 (2017年9月)

皆さんお早うございます。先月の東京は、一日から21日間連続で雨を観測し、気温は平年より低かったようですが、京都は、時々35℃を超える猛暑日もあり例年通りの暑い夏となりました。このところ日中の最高気温も30℃前後まで下がり、熱帯夜から開放され、朝晩は随分と過ごしやすくなってきました。まだまだ本格的な秋の到来には時間がかかりそうです。厳しい暑さが続く中で知らず知らずの内に体に疲れが溜まっています。十分な睡眠、適度な栄養と水分補給を常に心がけてください。

今年の夏も、内外のさまざまな大会で若手の日本選手が活躍しスポーツファンを大いに楽しませてくれました。卓球のチェコ・オープン男子シングルスで、14歳の張本智和選手が優勝し、ワールドツアーの史上最年少制覇を達成しました。今大会は中国選手の出場はなかったとはいえ、決勝で元世界ランキング1位のティモ・ボル（ドイツ）を4-2で破り、世界ツアー初優勝を果たしました。世界陸上ロンドン大会では、男子400メートルリレーで日本チームは昨年のリオ五輪の銀メダルに続き、決勝で英国、米国に次ぎ銅メダルを獲得しました。男子50キロ競歩で、新井、小林の両選手が銀、銅メダルに輝きました。世界バトミントン選手権では、女子シングルスでリオ五輪銅メダルの奥原選手が見事初優勝を果たし、男女合わせて日本史上初のシングルス金メダルを獲得しました。女子ダブルスで初出場・第9シードの福島・広田ペアが銀メダルを獲得しました。レスリングや柔道の世界大会でも東京五輪を担う数多くの若手選手の活躍が目立ちました。夏の高校野球では今年も数々の素晴らしいプレーでファンを楽しませてくれました。一番印象に残ったのは、準優勝チーム広島・広陵高校の中村捕手の1大会6本塁打記録の達成でした。高校日本代表はカナダで行われている野球のU-18（18歳以下）ワールドカップに出場しています。清宮選手（早稲田実業）や安田選手（履正社）と共にどんな活躍をしてくれるか楽しみです。最近のもっともホットな話題は、サッカー日本代表が18年W杯ロシア大会の出場を決めたことです。先週木曜日（31日）に埼玉スタジアムで行われたアジア最終予選B組のオーストラリア戦に2-0で勝利し、6大会連続6度目のW杯予選突破を果たしました。昨年9月、最終予選の初戦でUAEによもやの敗北を喫し、豪州、サウジアラビアの三つ巴で予選突破に苦しんできた日本代表は、過去W杯予選で一度も勝利のなかった豪州に完勝しました。パスをつなぐことに徹した豪州に対し、若手の浅野、乾、井手口、大迫らが思いっきり走りまわり、たてに、ななめに早く鋭く攻めあがり、シュート数でも豪州を圧倒しました。ハリルホジッチ監督の早い攻めにこだわる戦法と若手を抜擢した選手起用が見事的中しました。日本代表は新旧交代期にさしかかっており、この難しい時期を思い切った若手起用の采配で強敵豪州を打ち負かせました。来年の本大会に向けて世代交代がさらに進んでいくと思われます。20年の東京五輪にむけ様々な競技で新旧交代の動きが出てきています。実績、経験豊富なベテランと新しい風を吹き込む新人、若手がうまく組み合わせあってよりよい成果をだしてくれることを期待しています。 以上